

博士前期課程 カリキュラム・マップ (2019年度)

工学研究科共通科目

区 分	授 業 科 目	DP (a)	DP (b)	DP (c)
数学系科目	応用数理解論	○		
	解析学通論	○		
	代数学通論	○		
	幾何学通論	○		
生命科学系科目	生命複合科学特論Ⅰ	○		
	生命複合科学特論Ⅱ	○		
実践力創生系科目	経営学概論			○
	技術経営のすすめ			○
	技術系のマネジメント基礎			○
	起業化経営論			○
エネルギー・環境系科目	量子エネルギー応用論	○		
グローバル系科目	大学院海外短期インターンシップⅠ		○	○
	大学院海外短期インターンシップⅡ		○	○
留学生向科目	工業日本語特論Ⅰ		○	
	工業日本語特論Ⅱ		○	

工学研究科博士前期課程 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- (a) 高度な専門的知識・能力，および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力，自己学習力，問題発見・解決能力，およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し，幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

機械工学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP (a)	DP (b)	DP (c)	DP (Ma)	DP (Mb)	DP (Mc)
専 攻 共 通	科学英語コミュニケーションⅠ		○				○
	科学英語コミュニケーションⅡ		○				○
	科学英語表現Ⅰ		○				○
	科学英語表現Ⅱ		○				○
	科学英語特別講義		○				○
	CAE基礎	○			○		
	機械工学特別演習及び実験Ⅰ		○		○		
	機械工学特別演習及び実験Ⅱ		○		○		
	機械工学特別講義			○			○
	長期インターンシップ		○		○		○
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)		○			○	
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)		○			○	
	PBL W (Project Based Learning W)		○			○	
機能創成工学 分野	計算機援用成形加工	○			○		
	計算機援用構造設計	○			○		
	環境材料強度学	○			○		
	破壊力学	○			○		
	微小機械要素設計	○			○		
	機械加工学特論	○			○		
	マルチスケール材料応用力学	○			○		
熱流体システム 分野	計算機援用流体力学	○			○		
	燃焼理論	○			○		
	応用熱システム	○			○		
	エネルギー輸送	○			○		
	安全安心の熱流体工学	○			○		
	統計力学	○			○		
システム制御 工学分野	計算機援用制御系設計	○			○		
	計算機援用構造動解析	○			○		
	振動解析学	○			○		
	ロボット工学	○			○		
	機械システム工学	○			○		
	機械動力学	○			○		

機械工学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力，および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力，自己学習力，問題発見・解決能力，およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し，幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<機械工学専攻>

- (Ma) 環境に調和した快適な社会生活を過ごすためのものづくりを，ハードとソフトの両面から推し進めるために，機能創成工学，熱流体システム，システム制御工学のいずれかに関する高度な専門知識と問題解決への応用能力を有している。
- (Mb) 地域と国際社会の未来を支える科学技術の創造に貢献できる。
- (Mc) 人類の持続可能な発展に寄与できるグローバルな視点を持つ。

電気・電子工学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP (a)	DP (b)	DP (c)	DP (Ea)	DP (Eb)
専 攻 共 通	電子物性特論	○				○
	エネルギー工学特論	○				○
	システム工学特論	○				○
	計算機工学特論	○				○
	信号処理特論	○				○
	科学英語コミュニケーションⅠ		○			
	科学英語コミュニケーションⅡ		○			
	科学英語表現		○			
	科学英語特別講義		○			
	電気・電子工学特別講義第一			○		○
	〃 第二			○		○
	電気・電子工学特別演習及び実験Ⅰ		○			○
	電気・電子工学特別演習及び実験Ⅱ		○			○
	電気・電子工学PBL		○	○		○
	長期インターンシップ		○	○		
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)		○			○
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)		○			○
	PBL W (Project Based Learning W)		○			○
電子物性分野	半導体デバイス				○	
	半導体プロセス工学				○	
	非線形光学				○	
	固体電子物性				○	
	光情報デバイス工学				○	
エネルギー工学分野	電力システム				○	
	電気エネルギー基礎論				○	
	パワーエレクトロニクス特論				○	
システム工学分野	情報通信工学特論				○	
	回路・システム論				○	
	システム制御論				○	
	データサイエンス特論				○	

電気・電子工学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力, および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
 (b) 創造力, 自己学習力, 問題発見・解決能力, およびコミュニケーション能力を有している。
 (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し, 幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<電気・電子工学専攻>

- (Ea) 電気・電子工学の主要な分野である物性・デバイス工学, エネルギー工学, システム工学において, 高度かつ複雑化する社会ニーズに柔軟に対応できる専門知識と応用能力を有している。
 (Eb) 社会に対する高い倫理観と地球的視点からの洞察に基づき, 物性・デバイス工学, エネルギー工学, システム工学3分野の融合も実践できる能力を兼ね備えている。

情報・メディア工学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP (Ia)	DP (Ib)	DP (Ic)	DP (Id)
専 攻 共 通	情報・メディア工学特別講義第 1	○			
	〃 第 2	○			
	〃 第 3	○			
	〃 第 4	○			
	情報・メディア工学特別演習及び実験 I		○		○
	情報・メディア工学特別演習及び実験 II		○		○
	科学英語コミュニケーション I			○	
	科学英語コミュニケーション II			○	
	科学英語表現 I			○	
	科学英語表現 II			○	
	長期インターンシップ			○	○
	PBL H-I (Project Based Learning H-I)		○		○
	PBL H-II (Project Based Learning H-II)		○		○
	PBL W (Project Based Learning W)		○		○
情報・メディア 工学分野	計算機組織論	○			
	量子コンピューティング	○			
	計算量理論	○			
	形式手法入門	○			
	デジタル移動通信特論	○			
	情報信号処理工学特論	○			
	情報通信論	○			
	通信ネットワークデザイン・信頼性特論	○			
	聴覚情報処理	○			
	データベース論	○			
	データマイニング	○			
	線形計算特論	○			
	映像情報符号化特論	○			
	三次元情報処理特論	○			
	パターン認識特論	○			

情報・メディア工学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力, および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力, 自己学習力, 問題発見・解決能力, およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し, 幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<情報・メディア工学専攻>

- (Ia) 情報, 通信, メディア工学に関する高度な専門知識と関連する幅広い基礎知識, およびその応用能力を有している。
- (Ib) 情報に関する実世界の多様な問題に対する理解力・応用力・解決能力を有している。
- (Ic) 自律的学習力, 自己表現力, 相互理解力, 討論力と国際性を有している。
- (Id) 高度情報技術者としての社会・組織に対する倫理観および責任を自覚し, 新しい技術の開発により社会の発展に貢献する意欲と実現力を有している。

建築建設工学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP (a)	DP (b)	DP (c)	DP (Aa)	DP (Ab)	DP (Ac)
専 攻 共 通	建築建設工学特別演習及び実験Ⅰ A	○	○	○	○	○	○
	建築建設工学特別演習及び実験Ⅰ B	○	○	○	○	○	○
	建築建設工学特別演習及び実験Ⅱ A	○	○	○	○	○	○
	建築建設工学特別演習及び実験Ⅱ B	○	○	○	○	○	○
	科学英語コミュニケーションⅠ		○				
	科学英語コミュニケーションⅡ		○				
	科学英語表現Ⅰ		○				
	科学英語表現Ⅱ		○				
	長期インターンシップ		○	○			
	建築インターンシップ		○	○		○	○
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)		○	○			
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)		○	○			
	PBL W (Project Based Learning W)		○	○			
環境構造工学分野	建築構造力学特論	○			○		
	建築構造設計学		○			○	
	建築構造動力学	○	○		○	○	
	地盤解析学	○			○		
	環境水理学	○			○		
	土木構造特論	○			○		
	地震工学特論	○	○			○	○
	構造材料学	○		○	○	○	○
都市建築設計分野	建築環境工学特論 1	○	○		○	○	○
	建築環境工学特論 2	○	○	○	○	○	○
	建築都市設計論		○		○	○	
	建築都市計画特論	○	○	○	○	○	○
	建築計画学特論	○		○	○		○
	交通論		○	○		○	○
	国土・地域計画特論			○			○
	都市論			○			○
	都市計画特論			○			○
	日本建築史特論	○			○		○

建築建設工学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力，および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力，自己学習力，問題発見・解決能力，およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し，幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<建築建設工学専攻>

- (Aa) 建築建設工学関連分野における高度な専門知識，および自然科学的・芸術的・技術的・人文社会学能力を有している。
- (Ab) 高度な技術を自ら解決・発展・展開できる専門的能力とコミュニケーション能力を有している。
- (Ac) 建築建設工学技術者の役割を考え，地域や環境に対する広い視野を持ち，社会に貢献できる倫理観を有している。

材料開発工学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP (Sa)	DP (Sb)	DP (Sc)	DP (Sd)
専 攻 共 通	材料開発工学特別講義	○			○
	材料開発工学特別演習及び実験Ⅰ		○	○	
	材料開発工学特別演習及び実験Ⅱ		○	○	
	科学英語コミュニケーションⅠ			○	
	科学英語コミュニケーションⅡ			○	
	科学英語表現			○	
	科学英語特別講義			○	
	材料開発工学PBL		○		○
	長期インターンシップ			○	○
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)		○		○
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)		○		○
	PBL W (Project Based Learning W)		○		○
エネルギー・物質 変換化学分野	重合反応論	○			
	電池特論	○			
	無機材料工学特論	○			
	セラミックス工学特論	○			
	高分子設計論	○			
	環境化学分析	○			
	有機化学特論	○			
インテリジェント 材料分野	分子相互作用特論	○			
	高分子分子論	○			
	インテリジェント材料	○			
生産加工プロセス 分野	化学工学特論	○			
	高分子生産プロセス工学	○			
	繊維・高分子材料レオロジー特論	○			
	繊維・高分子加工工学	○			
	繊維・高分子材料工学	○			

材料開発工学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力, および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力, 自己学習力, 問題発見・解決能力, およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し, 幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<材料開発工学専攻>

- (Sa) 材料開発分野に関する高度な専門知識と問題解決への応用能力を有している。
- (Sb) 主体的かつ継続的に学習し, 研究課題に取り組む積極性を有している。
- (Sc) 論理的思考能力と経験的直感力に基づき, 自らの考えを国際社会に対して表現・伝達できるコミュニケーション能力を有している。
- (Sd) 高度専門技術者として社会に対する責任を自覚し, 自然環境への影響を考慮しながら, 人間社会の発展に貢献する力を有している。

生物応用化学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP(Ba)	DP(Bb)	DP(Bc)
専 攻 共 通	生物応用化学特別講義	○	○	
	生物応用化学特別演習及び実験Ⅰ	○	○	
	生物応用化学特別演習及び実験Ⅱ	○	○	
	科学英語コミュニケーションⅠ			○
	科学英語コミュニケーションⅡ			○
	科学英語表現			○
	科学英語特別講義			○
	生物応用化学PBL			○
	長期インターンシップ		○	
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)		○	
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)		○	
	PBL W (Project Based Learning W)		○	
生物応用化学分野	有機化学特論	○	○	
	有機化学ゼミナールⅠ	○	○	
	有機化学ゼミナールⅡ	○	○	
	高分子化学特論	○	○	
	高分子化学ゼミナールⅠ	○	○	
	高分子化学ゼミナールⅡ	○	○	
	分子機能化学特論	○	○	
	物理化学ゼミナールⅠ	○	○	
	物理化学ゼミナールⅡ	○	○	
	界面コロイド化学	○	○	
	カラーレーション工学	○	○	
	繊維科学概論	○	○	
	分析化学ゼミナールⅠ	○	○	
	分析化学ゼミナールⅡ	○	○	
	分子生物学特論	○	○	
	分子生物学ゼミナールⅠ	○	○	
	分子生物学ゼミナールⅡ	○	○	
	生命機能工学特論	○	○	
	生命機能工学ゼミナールⅠ	○	○	
	生命機能工学ゼミナールⅡ	○	○	
	生命構造科学特論	○	○	
	神経科学ゼミナールⅠ	○	○	
	神経科学ゼミナールⅡ	○	○	
	生体分子化学ゼミナールⅠ	○	○	
	生体分子化学ゼミナールⅡ	○	○	
	生物工学特論	○	○	
	生物反応工学ゼミナールⅠ	○	○	
	生物反応工学ゼミナールⅡ	○	○	
	細胞工学ゼミナールⅠ	○	○	
	細胞工学ゼミナールⅡ	○	○	
	生体材料化学	○	○	

生物応用化学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力、および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力、自己学習力、問題発見・解決能力、およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し、幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<生物応用化学専攻>

- (Ba) 化学・生命科学・工学を連結する課題探求型技術者、研究者として育っていくための礎となる、問題発見・解決能力、自己学習力、創造性、柔軟な思考性、及びコミュニケーション能力を有している。
- (Bb) 技術者としての倫理観や社会的責任感を持ち、持続が可能で豊かな社会の実現を目指す使命感を持っている。
- (Bc) 専門以外の分野についても広い素養とグローバルな視点を有している。

理工学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP (a, Pa)	DP (Pb)	DP (c, Pc)	DP (Pd)	DP (b, Pe)
専 攻 共 通	量子力学特論	○				
	量子統計力学特論	○				
	計算科学特論	○				
	物理数学特論	○				
	相対論特論	○				
	物性物理学特論	○				
	理工学特別演習及び実験Ⅰ		○	○		
	理工学特別演習及び実験Ⅱ		○	○		
	理工学ゼミナールⅠ		○			
	理工学ゼミナールⅡ		○			
	理工学ゼミナールⅢ		○			
	理工学ゼミナールⅣ		○			
	科学英語コミュニケーションⅠ					○
	科学英語コミュニケーションⅡ					○
	科学英語表現Ⅰ					○
	科学英語表現Ⅱ					○
	科学英語特別講義					○
	理工学PBL				○	
	長期インターンシップ			○	○	
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)				○	
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)				○	
	PBL W (Project Based Learning W)				○	
数理・量子科学分野	数理・量子特別講義	○				
	数理解析特論	○				
	超流動・超伝導	○				
	素粒子物理学	○				
物性・電磁物理分野	物性・電磁物理特別講義Ⅰ	○				
	物性・電磁物理特別講義Ⅱ	○				
	磁性物理学	○				
	極限環境物性学	○				
	量子光学Ⅰ	○				
	量子光学Ⅱ	○				
	粒子線計測学	○				
	電磁波工学	○				
	プラズマ物理学	○				
	低温工学	○				
	電波物性	○				
	核磁気共鳴特論	○				
	レーザー工学	○				
	光計測工学	○				
	マイクロ波分光学	○				
	遠赤外工学Ⅰ	○				
	遠赤外工学Ⅱ	○				
	非平衡物理学Ⅰ	○				
	基礎電子管工学	○				
	Introduction to Far-infrared Research and Technology	○				
	放射線物理学	○				
分子科学分野	分子科学特別講義	○				
	分子分光学特論	○				
	液体物理概論	○				
	界面熱力学	○				
	分子熱力学	○				

理工学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力, および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力, 自己学習力, 問題発見・解決能力, およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し, 幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<理工学専攻>

- (Pa) 高度な専門知識, 技術を自主的・継続的に学ぶことができる。
- (Pb) 常に物事の本質を見極めようとする姿勢を持っている。
- (Pc) 問題を幅広い視野で多角的に捉えることができ, 技術者としての倫理観に基づいて判断できる能力を持っている。
- (Pd) 幅広い基礎知識と高度な専門知識を用いて問題を解決し, 新しいものやシステムを創り活用できる。
- (Pe) 国際社会において自らの考えを説明し, 議論できるコミュニケーション能力を持っている。

知能システム工学専攻 カリキュラム・マップ (2019年度)

区 分	授 業 科 目	DP (a, Ha)	DP (b, Hb)	DP (c, Hc)
専 攻 共 通	科学英語コミュニケーションⅠ		○	
	科学英語コミュニケーションⅡ		○	
	科学英語表現Ⅰ		○	
	科学英語表現Ⅱ		○	
	知能システム工学特別演習及び実験Ⅰ	○	○	○
	知能システム工学特別演習及び実験Ⅱ	○	○	○
	知能システム特別講義一	○	○	
	知能システム特別講義二	○	○	
	知能システム特別講義三	○	○	
	長期インターンシップ		○	○
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)	○	○	
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)	○	○	
	PBL W (Project Based Learning W)	○	○	
知能創成分野	複雑システム論	○		
	生物情報学	○		
	非線形システム論	○		
	知能創成ゼミナールⅠ	○	○	
	知能創成ゼミナールⅡ	○	○	
	人間運動学習システム論	○		
	脳情報学	○		
未来システム 創造分野	バイオメカニクス	○		
	ロボット先端材料科学特論	○		
	移動知能論	○		
	機械学習特論	○		
	最適運動計画特論	○		
	知識情報工学論	○		
	デジタル制御論	○		
	知的インターフェース論	○		
	画像計測特論	○		
	未来システム創造ゼミナールⅠ	○	○	
	未来システム創造ゼミナールⅡ	○	○	

知能システム工学専攻 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力, および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力, 自己学習力, 問題発見・解決能力, およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し, 幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<知能システム工学専攻>

- (Ha) 高度な専門的知識・能力, および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (Hb) 創造力, 自己学習力, 問題発見・解決能力, およびコミュニケーション能力を有している。
- (Hc) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し, 国際的で幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

繊維先端工学専攻 カリキュラム・マップ（2019年度）

区 分	授 業 科 目	DP (Fa)	DP (Fb)	DP (Fc)	DP (Fd)
専攻共通	繊維科学概論	○	○		
	繊維先端工学特別講義Ⅰ	○		○	○
	繊維先端工学特別講義Ⅱ	○		○	○
	科学英語コミュニケーションⅠ				○
	科学英語コミュニケーションⅡ				○
	科学英語表現Ⅰ				○
	科学英語表現Ⅱ				○
	長期インターンシップ		○		○
	繊維先端工学創成演習	○		○	○
	繊維先端工学PBL		○	○	
	繊維先端工学特別実験	○	○	○	
	PBL H-Ⅰ (Project Based Learning H-Ⅰ)			○	○
	PBL H-Ⅱ (Project Based Learning H-Ⅱ)			○	○
	PBL W (Project Based Learning W)			○	○
繊維先端工学分野	繊維・高分子材料工学	○			
	繊維材料科学ゼミナールⅠ	○		○	
	繊維材料科学ゼミナールⅡ	○		○	
	繊維・高分子加工工学	○			
	繊維・高分子材料レオロジー特論	○			
	繊維・成形加工ゼミナールⅠ	○		○	
	繊維・成形加工ゼミナールⅡ	○		○	
	分子相互作用特論	○			
	テキスタイル工学ゼミナールⅠ	○		○	
	テキスタイル工学ゼミナールⅡ	○		○	
	界面コロイド化学	○			
	カラーレーション工学	○			
	繊維機能科学ゼミナールⅠ	○		○	
	繊維機能科学ゼミナールⅡ	○		○	
	生命機能工学	○			
	生体材料化学	○			
	バイオメテック工学ゼミナールⅠ	○		○	
	バイオメテック工学ゼミナールⅡ	○		○	
繊維産業工学分野	繊維産業工学	○	○		

繊維先端工学専攻 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力，および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力，自己学習力，問題発見・解決能力，およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し，幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<繊維先端工学専攻>

- (Fa) 繊維の化学・生物学および物理的特徴を理解している。
- (Fb) 確固とした専門知識と倫理観を備え，繊維系・化学系企業や研究機関をはじめ，繊維材料を利用する様々な業種の研究開発に積極的に対応できる。
- (Fc) 問題解決のための専門知識を自ら継続的に修得する能力を持つ。
- (Fd) 専門分野について，国内外の公的な場で表現し議論することが可能なコミュニケーション能力を持つ。

原子力・エネルギー安全工学専攻 カリキュラム・マップ（2019年度）

区 分	授 業 科 目	DP (a)	DP (b)	DP (c)	DP (Na)	DP (Nb)	DP (Nc)
専 攻 共 通	原子力工学概論			○			○
	原子力防災・危機管理	○			○		
	エネルギー変換工学	○			○		
	安全工学	○			○		
	原子力・エネルギー法規	○			○		
	原子核工学概論	○			○		
	核燃料サイクル工学	○			○		
	原子炉工学実験	○			○		
	核燃料サイクル実習	○			○		
	原子力の安全性と地域共生	○			○		
	環境と人間活動			○			○
	原子力・エネルギー安全工学特別講義第 1	○			○		
	原子力・エネルギー安全工学特別講義第 2	○			○		
	計算機科学	○			○		
	原子力基礎科学	○			○		
	原子力基礎実験	○			○		
	原子力応用実験	○			○		
	科学英語コミュニケーションA		○			○	
	科学英語表現A		○			○	
	科学英語コミュニケーションB		○			○	
	科学英語表現B		○			○	
	科学英語 P B L 1		○			○	
	科学英語 P B L 2		○			○	
	原子力・エネルギー安全創成演習	○			○		
	原子力・エネルギー安全特別実験	○			○		
	長期インターンシップ		○	○		○	○
	原子力工学 P B L 1		○			○	
	原子力工学 P B L 2		○			○	
	エネルギー安全工学 P B L 1		○			○	
	エネルギー安全工学 P B L 2		○			○	
	PBL H- I (Project Based Learning H- I)		○			○	
	PBL H- II (Project Based Learning H- II)		○			○	
	PBL W (Project Based Learning W)		○			○	

原子力工学 分 野	原子核物理・原子核反応	○			○		
	原子炉物理学	○			○		
	原子炉制御工学	○			○		
	次世代炉システム	○			○		
	原子力材料学	○			○		
	核燃料工学	○			○		
	冷却材環境工学	○			○		
	放射線物理学・放射線化学	○			○		
	放射線生物学	○			○		
	放射線防護・遮蔽学	○			○		
	原子力・地震防災工学	○			○		
	廃止措置工学	○			○		
	熱水力安全工学	○			○		
エネルギー安全 工学分野	構造健全性評価工学	○			○		
	構造解析学	○			○		
	構造健全性評価工学実習	○			○		
	量子計測工学	○			○		
	放射線計測学	○			○		
	ヒューマンインターフェース論	○			○		

原子力・エネルギー安全工学専攻 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

<工学研究科共通>

- (a) 高度な専門的知識・能力，および専門に関連した幅広い基礎知識を有している。
- (b) 創造力，自己学習力，問題発見・解決能力，およびコミュニケーション能力を有している。
- (c) 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し，幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

<原子力・エネルギー安全工学専攻>

- (Na) 原子力の安全と共生を実現するための高度専門技術者として相応しい，高度な専門知識と自ら課題を解決する能力を有している。
- (Nb) 原子力関連分野の課題に対して，グローバルな視点から考え，議論する能力を有している。
- (Nc) 幅広い視野と高い倫理観を有している。